

シラバス

令和5年度		1学年	美術
目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的に表す力や見る力を培い、生活や社会の中の美術を楽しむ態度を養う。		
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動に楽しんで取り組むことができる。 ・対象をよく観察し、概念でなく、写實的に表そうとすることができる。 ・色について理解し、表現に生かすことができる。 ・画材や用具を適切に使用して造形することができる。 		
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・授業の約束、心構えの確認、レクリエーション活動 ○「お絵かきウォーミングアップ」 ・簡単なスケッチ、イラスト、塗り絵など 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の約束や活動への心構えを確認し、見通しを持って取り組む（学） ・活動を楽しみ、今後への期待感を持つ（学） ・題材をもとに自由に発想する（思・判・表）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○形を捉えて描く ・素描、鉛筆スケッチ、明暗を意識した立体感のある表現 	3	対象を観察によって表現する（知・技）（思・判・表）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩画「観察して描こう」 ・水彩絵具、用具の使い方 ・混色・濃淡の表現 「空を描こう」「緑を描こう」 ○色の学習 ・色の三要素（色相、明度、彩度）、はたらき、イメージ 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・対象を観察し、概念にと捉われずに表現する（知・技）（思・判・表） ・色彩や画材の特性を知り、制作に生かす。（知・技）（思・判・表） ・ルールやマナーに則って適切に用具を使用する。（思・判・表）（学）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩画「観察して描こう」 ・作品制作 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の形や色を、概念に捉われずに描画する（知・技）（思・判・表） ・画材の特性を生かして表現する（知・技）（思・判・表）
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○水彩画「観察して描こう」 ・作品制作 ○文化祭の展示 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・画材の特性を生かして表現する（思・判・表） ・発表を通じてコミュニケーションを図る（思・判・表）（学）

後期 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動に意欲的に取り組むことができる。 ・既成品を素材として立体表現し、新しいイメージを作り出すことができる。 ・作品鑑賞を通して、表現力とコミュニケーション力を伸ばすことができる。 		
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞 ・「気づいたこと、感じたことを伝えよう」 ○立体作品 「集積アート」 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を通して気づいたことや感じたことを、文章で捉え直す(学) (思・判・表) ・対話的なコミュニケーションの力を伸ばす。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○立体作品 「集積アート」 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現方法に気づき、自分の制作に生かそうとする。(知・技)(学) ・ものの固定的なイメージを超えた発想を広げる (思・判・表)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○立体作品 「集積アート」 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの固定的なイメージを超えた発想を広げる (思・判・表)
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・作品鑑賞 ○立体作品 「集積アート」 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの固定的なイメージを超えた発想を広げる (思・判・表)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○立体作品 「集積アート」 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの固定的なイメージを超えた発想を広げる (思・判・表) ・物事を最後までやり通し、まとめあげる (思・判・表) (学)
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○1年の学習のまとめ 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返るとともに、次年度への学習意欲を持つ (学) (思・判・表)
年間予定時数		27	

令和5年度		2学年	美術
目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的に表す力や感じる力を高め、生活や社会の中の美術に親しむ態度を伸ばす。		
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の美しさや技法を理解し、用具や素材を適切に扱って、表現に生かすことができる。 ・経験や想像をもとに、形や色の組み合わせを豊かに発想することができる。 ・美術的な活動を楽しみ、意欲的に取り組むことができる。 		
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション 授業の約束、心構えの確認、レクリエーション活動 ○切り絵 「ウォーミングアップ」 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に見通しを持って取り組む(学)(知・技) ・美術に親しみをもち、意欲的に取り組む姿勢を持つ。(学)(思・判・表)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・刃物、用具の使い方 ・技法 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい表現技法や配置、配色などを考える。(知・技)(思・判・表) ・安全に留意して制作する(学)(知・技) ・手指の巧緻性を高める。(知・技)(思・判・表)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・刃物、用具の使い方 ・技法 	4	同上
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・刃物、用具の使い方 ・技法 	2	同上
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○切り絵を中心にした紙の造形 ・作品としての仕上げ ○文化祭の展示 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり通し、まとめあげる(思・判・表)(学) ・発表を通じてコミュニケーションを図る(思・判・表)(学)

後期 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・技法を理解し、主題を効果的に表現する方法を考えることができる。 ・日本の美術品のよさや特徴をもとに、美しく創造することができる。 ・互いのよさを生かし、協力して創造活動に取り組む。 ・造形活動を楽しみ、意欲的に取り組むことができる。 		
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○鑑賞 ○沖縄の美術・工芸、建築物 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・対象から感じたり考えたりしたことを表現する（思・判・表） ・対話的なコミュニケーションの力を伸ばす（思・判・表）（学） ・美術工芸品について知見を広げ、行事等で理解を深める（知・技）（学）
11月	○沖縄の風景、名所の壁画共同制作	3	<ul style="list-style-type: none"> ・互いのよさを生かし、協力して活動に取り組む。（思・判・表）（学） ・集団で取り組むことによる、相乗的な創造の喜びを味わう。（思・判・表）（学）
12月	○沖縄の風景、名所の壁画共同制作	2	同上
1月	○沖縄の風景、名所の壁画共同制作	2	同上
2月	○沖縄の風景、名所の壁画共同制作	2	同上
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄の風景、名所の壁画共同制作 ○1年の学習のまとめ 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生に対する感謝の気持ちを作品の形で表現する。（思・判・表） ・1年間の学習を振り返り、次年度の学習に向けての意欲を持つ。（学）（思・判・表）
年間予定時数		31	

令和5年度		3学年	美術
目標	表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な表現力や事物から美的に感じ取る力を高め、生活や社会の中の美術に主体的に親しむ態度を身につける。		
前期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自画像について造形的な理解を持ち、意図を持って自分を描くことができる。 ・造形的なよさや美しさを追究し、工夫して表現することができる。 ・主体的に活動に取り組み、意欲的に取り組むことができる。 ・自分や他者の自画像を通して、感じたことや考えたことを表現することができる。 		
月	前期学習内容	時数	キャリア教育の視点
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ・授業の約束、学習への心構え、レクリエーション活動 ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・さまざまな自画像・人物画の鑑賞 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・学習への見通しや期待を持って活動に取り組む(学) ・人物画のさまざまな表現を知り、関心を持つ(知・技)(学) ・18歳を迎える自分を改めて振り返り、自己理解を深め、自分らしさを追求する。(思・判・表)
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・自画像を構成する要素 ・自分についての考察 ・表情・ポーズ等の構想、計画 ・写実的なスケッチ ・下絵の描き方 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさを追求し、意図を持って物事に取り組む(思・判・表)(表) ・技法について理解・習熟し、自分の表現に生かす(知・技)(思・判・表)
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・下絵制作 ・描画、着彩 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・手順や技法を理解し、意図を生かした表現となるよう、造形を工夫する(知・技)(思・判・表) ・ていねいに制作する(学)
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・描画、着彩 	2	同上
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・描画、着彩 ・作品としての仕上げ、まとめ ・展示、発表 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり通し、まとめあげる(思・判・表)(学) ・発表を通じてコミュニケーションを図る。(思・判・表)(学)

後期目標	<ul style="list-style-type: none"> ・題材についての深い理解を持ち、表現することができる。 ・題材や素材のよさを生かした表現を考えることができる。 ・主体的に活動に取り組み、美術に親しむ態度を深めることができる。 ・作品に愛着を持ち、生活に生かすことができる。 		
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○「18歳の自画像を描こう」(自画像制作) ・作品鑑賞 ○鑑賞 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・作品から感じたり考えたりしたことを表現する(思・判・表) ・対話的なコミュニケーションの力を伸ばす(思・判・表)(学)
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・技法の理解・習熟 ・構成、表現 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・技法について理解・習熟し、自分の表現に生かす(知・技)(思・判・表) ・学校生活を振り返り、卒業後の社会生活に向けて、励みとなるような作品を考える(思・判・表)(学) ・今までの学習を踏まえ、よりよい作品となるように取り組む(学)
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・技法の理解・習熟 ・構成、表現 	3	同上
1月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・構成、表現 	3	同上
2月	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業制作 ・3年間の学校生活の思い出を主題とする造形活動 ・作品としての仕上げ、まとめ ・展示、発表 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を最後までやり通し、まとめあげる(思・判・表)(学) ・対話的な鑑賞を通じて、コミュニケーションの力を伸ばす(思・判・表)(学)
3月	○学習のまとめ	1	・今までの美術の学習を振り返り、今後の生活に活かす方法を考え合う(思・判・表)(学)
年間予定時数		28	